

# 福島第一原子力発電所 使用済の保護衣を収納したコンテナの転倒について

< 参 考 資 料 >  
2022年3月16日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

- 昨日（3月15日）午後10時40分頃、構内パトロールを行っていた協力企業作業員が、雑固体廃棄物焼却設備の南側にある一時保管エリア「o」に保管していた、使用済保護衣を収納したコンテナ（8基）が転倒していること、また転倒したコンテナ（2基）から保護衣を収納したビニール袋（68袋）が出ていることを確認しました。
- 当該保管エリアに保管している使用済の保護衣は、バックグラウンド（約0.5 $\mu$ Sv/h）同等以下のものであり、雑固体廃棄物焼却設備において焼却処理を行うために、ビニール袋に収納した上で火災防護の観点からコンテナに保管しているものです。なお、転倒したコンテナから出ていたビニール袋に破損が無いことを確認しています。
- 使用済の保護衣等を収納した火災防護用のコンテナは、原則、転倒防止の観点からコンテナ上にネットを掛けて保管していますが、当該エリアに保管しているコンテナについては、焼却処理を待っている状態であったことから、ネット掛けは実施していませんでした。そのため、今回の転倒の原因については、コンテナが強風の影響により転倒したものと推定しています。
- 対策として今後、当該エリアにおいて道路際から2列分程度には、コンテナを配置しないこととするとともに、道路側の一列については、これまでの4段積から2段積にすることにより、作業員の安全を確保することとします。
- 現時点で当該エリア以外に転倒したコンテナ等は確認されていません。また、敷地境界モニタリングポストおよび連続ダストモニタ、ならびに構内ダストモニタ等に有意な変動がないことを確認しており、周辺環境への影響はありません。

# 使用後の保護衣を収納したコンテナの場所と転倒の様子



提供：日本スペースイメージング（株）2021.4.8撮影

図1.コンテナが転倒していたエリア



写真1.転倒したコンテナの状況



写真2.転倒したコンテナから出たビニール袋  
(内部は使用後の保護衣)の状況